

令和3年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

# 科目名：国際関係論

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 国際政治学
2. 国際政治経済学

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 国際関係論

出題分野名 国際政治学

問題1 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明しなさい。また、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) ブレジネフ・ドクトリン
- (b) 一帯一路政策
- (c) スエズ危機
- (d) マルタ会談

(1) ベトナム戦争が国際政治に与えた影響についてできるだけ多面的に論述しなさい。

(2) 中ソ対立の原因および国際政治に与えた影響について論述しなさい。

問題2 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明しなさい。また、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) 欧州安全保障協力機構 (OSCE)
- (b) 中距離核兵力全廃条約(INF)
- (c) イラン・イラク戦争
- (d) 第一列島線

(1) 冷戦終結以降の北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)による核開発問題に対する国際的な対応を時代順に論述しなさい。

(2) 「戦争は他の手段をもってする政治の継続である」というクラウゼヴィッツの命題が今日どの程度有効と言えるかについて論述しなさい。

科目名 国際関係論

出題分野名 国際政治経済学

**問題 1**

世界的な規模で、各国の政策協調を促す多国間の国際制度が複数の政策領域に存在している。こうした領域において、近時、地域内あるいは二国間を妥当範囲とする制度を構築して、政策協調を促す動きが見られる。具体的な政策領域を2つ挙げて、制度構築の理由と世界的規模の国際制度との関係について論じなさい。

**問題 2**

諸国家の行政機関が連携し、政策の立案・実施・調整に取り組む場合がある。こうした行政を基盤とした国際公共政策の可能性を評価し、その実現の鍵となる行政機関の構造と行政官の資質および実現の障壁について論じなさい。